

NEWS RELEASE

CSRの取り組み

2015年6月16日

第41回放送文化基金賞 個人・グループ部門[放送文化] 『全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会(ニッポン放送他)』が受賞

6月10日(水)に『第41回放送文化基金賞』の各賞が発表され、個人・グループ部門[放送文化]を、40年にわたるチャリティ番組の放送・活動の実績により『全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会(ニッポン放送他)』が受賞することが決定しました。贈呈式は7月7日(火)に行われます。

第41回放送文化基金賞 個人・グループ部門 [放送文化] 受賞

受賞者名 全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会(ニッポン放送他)
(「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」キャンペーンの主催団体)

委員長：ニッポン放送 代表取締役社長 村山創太郎

業績名 40年にわたるチャリティ番組の放送・活動

[放送文化基金賞]

公益財団法人放送文化基金は、広く放送文化の発展に寄与することを目的として1974年に設立された民間の財団で、放送に関する調査・研究や事業に対する助成、優れた放送番組や放送文化・放送技術における業績の表彰、制作者フォーラムの開催など人材育成の支援を主な活動としている。

放送文化基金賞は、視聴者に感銘を与えた優れた放送番組、放送文化・放送技術の分野での顕著な業績を対象に表彰する賞で、番組部門と個人・グループ部門がある。

今回、全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会(ニッポン放送他)が受賞した個人・グループ部門[放送文化]は、放送界に新生面を拓いたなど、おおむね過去1年間に顕著な業績をあげ、永年にわたり放送文化の発展・向上に貢献した個人またはグループが対象となっている。

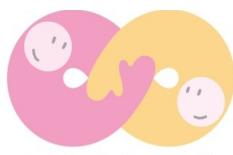
「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」

「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」は、目の不自由な方が安心して街を歩けるように『音の出る信号機』を設置する基金を募るチャリティキャンペーン。ニッポン放送、札幌テレビ放送(当時、現STVラジオ)、九州朝日放送の3局が参加して昭和50年(1975年)からスタートし、昨年・平成26年(2014年)で第40回を数えている。

チャリティキャンペーンは毎年11月1日から翌年1月31日までの3ヶ月間に渡って展開されており、クリスマスイブの12月24日正午から翌25日クリスマスの正午まで、ニッポン放送をはじめ各参加局が24時間の特別番組を放送している。現在は、ニッポン放送、北海道・STVラジオ、青森放送、IBC岩手放送、ラジオ福島、ラジオ大阪、和歌山放送、広島・中国放送、香川・西日本放送、福岡・九州朝日放送、ラジオ沖縄の全国11局のラジオ局が、実行委員会参加局として各局独自に番組を企画・制作して、地域に根ざしたキャンペーンを実施している。

第1回から第40回までにリスナーの皆様からお寄せ頂いた浄財は42億7,601万5,831円に上り、その全額が全日本交通安全協会や日本点字図書館を通じて、目の不自由な方が安心して街を歩くのに役立つ『音の出る信号機』の設置や、本を音声朗読した『声の図書』、『立体コピー』など、視覚障害者用教育機器などに使われている。

フジ・メディア・ホールディングス
CSRスローガン



つなげる笑顔 つながる心

この件に関するお問い合わせ先

株式会社ニッポン放送 編成局広報室 伊沢・平田
TEL / 03 - 3287 - 7611(直通) FAX / 03 - 3287 - 7693
広報室携帯 / 090 - 3048 - 1242

e-mail / n-izawa@jolf.jp

〒100-8439 東京都千代田区有楽町1-9-3